

ベトナムの原子力戦略：2030 年と 2050 年の展望

2025 年 3 月 13 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナムの原子力戦略：2030 年と 2050 年の展望

ベトナム政府は、2030 年までの原子力エネルギーの開発・応用計画を承認し、2050 年を見据えた長期戦略を推進している。この計画では、法整備の強化、人材育成、科学技術の発展、安全管理の徹底、国際協力の強化を重点施策とし、原子力の有効活用を進める。

2030 年までに、法制度と管理機関の整備を完了させ、研究・教育施設を合理化・強化し、Ninh Thuận 原子力発電プロジェクトのインフラを整備する。加えて、放射性鉱物の探査・採掘・加工技術を確立し、核医学や放射線治療の専門資格制度を導入する。

2050 年に向けて、ベトナムは原子力技術の自立を目指し、研究・教育のハブとしての地位を確立する。医療分野では、PET/CT や SPECT といった最新の放射線診断技術を導入し、国際基準に基づく医療人材の育成と放射線安全管理の強化を進める。

環境分野では、原子力技術を活用した土壌水分測定、地下水資源の評価、放射性鉱物の探査、放射線マッピング、気候変動分析を行い、自然災害のリスクを評価する。

工業分野では、放射線技術を非破壊検査や石油・ガス貯蔵設備の品質管理に活用し、放射線機器の国産化を推進する。農業分野では、放射線技術による品種改良、害虫防除、農産物の保存技術を開発し、食料生産の効率化を図る。

また、政府は核技術研究施設の建設と国際協力を推進し、国際原子力機関（IAEA）との連携を強化することで、持続可能なエネルギー開発を目指している。

この戦略により、ベトナムは原子力エネルギーの応用を経済・産業・環境・医療分野に広げ、地域の技術リーダーとしての地位を確立することを目標としている。

以上